

企画競争実施の公示

次のとおり、企画提案書の提出を招請します。

本案件は、「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取り組み指針」(平成28年3月22日すべての女性が輝く社会づくり本部決定)に基づき、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令(女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、若者雇用促進法)に基づく認定を受けた企業及びそれに準ずる企業を評価(認定企業等を加点)する対象案件である。

令和4年12月2日(金)

分任支出負担行為担当官

関東地方整備局甲府河川国道事務所長 留守 洋平

1. 業務概要

(1) 業務名 R4 富士川水系における河道土砂動態の解析に関する研究

(2) 業務内容

流域の土砂生産が多く、急流河川である富士川では、過去の大規模洪水時に、大量の土砂が河道に流出し、河道内での大規模河床上昇や流路変動、局所洗掘により流下能力不足や河川管理施設の損傷が生じている。このため適切な河道管理・河川整備を行ううえでは、実績洪水での洪水流や河床変動を精度よく分析し、大規模洪水時の河床変動機構を明らかにすることが求められている。

本業務は、大規模洪水時の河道内における土砂動態について高精度に解析を行い、甚大化・頻発化する洪水に備えるための富士川の今後の河道管理、河川整備に向けた技術的な提案についてとりまとめるものである。

(3) 履行期限 令和5年8月31日(木)

2. 企画競争参加資格要件

企画提案書の提出者は、以下に掲げる資格を満たしている者であること。

(1) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。

(2) 予算決算及び会計法第70条及び71条の規定に該当しない者であること。

(3) 令和04・05・06年度国土交通省競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」の関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であること。なお、「競争参加者の資格に関する公示」(令和4年3月31日付官報)に記載されている時期及び場所で競争参加資格の申請を受け付ける。

- (4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者(競争参加資格に関する公示に基づき(3)の競争参加資格を継続する為に必要な手続きを行った者を除く。)でないこと。
- (5) 企画提案書等の提出期限の日から見積の時までの期間に、関東地方整備局長から指名停止を受けていないこと。
- (6) 企画競争実施にかかる説明書の交付を直接受けた者であること。
- (7) 企画提案書を提出しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。
(企画競争実施にかかる説明書参照)
- (8) 下記に記載される同種又は類似業務等について、平成24年以降公示日までに完了した業務(再委託による業務の実績は含まない)において1件以上の実績を有すること。
- ・ 同種業務：土砂生産量や土砂流入量と水理現象を関連づけた手法を用いて二次元以上の解析レベルで河床変動解析を実施した業務(研究成果を含む)
 - ・ 類似業務：二次元以上の解析レベルで河床変動解析を実施した業務(研究成果を含む)
- (9) 配置予定技術者(主たる担当者)については、下記に示される同種又は類似業務等について、平成24年度以降公示日までに完了した業務(再委託による業務の実績は含まない)において1件以上の実績を有すること。
- ・ 同種業務：土砂生産量や土砂流入量と水理現象を関連づけた手法を用いて二次元以上の解析レベルで河床変動解析を実施した業務(研究成果を含む)
 - ・ 類似業務：二次元以上の解析レベルで河床変動解析を実施した業務(研究成果を含む)
- (10) 配置予定技術者(主たる担当者)については、令和4年12月2日現在の手持ち業務量(本業務を含まず、特定後未契約のものを含む)が4億円未満かつ10件未満であること。手持ち業務量とは、主たる担当者として従事している業務をいう。

3. 手続等

(1) 担当部局

〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘1丁目10-1

国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所 経理課 契約係

電話：055-252-5494

電子メール：ktr-kt6531d@gxb.mlit.go.jp

(2) 企画競争実施にかかる説明書の交付期間、場所及び方法

① 交付場所及び方法

交付を希望する者には、郵送(着払い・希望者の負担)又は、窓口で紙面での交付を行う。郵送を希望する者は、上記(1)に申し出ること。

ただし、電子データ様式での交付を希望する場合は、予め上記(1)に事前に連絡を行うこと。

また、電子データでの交付を希望する者には、電子メールにより電子データを交付するので、上記(1)に電子メールにて依頼を行うこと。

② 窓口での交付期間

令和4年12月2日から令和4年12月12日までの土曜日、日曜日及び休日等（行政機関の休日（以下「休日」という。））を除く毎日、8時30分から17時15分まで。（最終日は15時まで。）

(3) 企画提案書の提出期限並びに提出場所及び方法

提出期限：令和4年12月12日（月）17時15分

提出場所：上記(1)に同じ。

提出方法：持参または郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る。）、若しくは電子メールによる。

なお、押印を省略する場合は、「責任者及び担当者」の指名及び連絡先を企画提案書等に必ず記載すること。

(4) 企画提案に関するヒアリング

提出された企画提案書についてヒアリングは実施しない。

(5) 企画提案書の特定については、学識経験者で構成される第三者委員会が提案書の審議を行い、その結果を聴取したうえで、提案書の特定を行う。

4. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 関連情報を入手するための照会窓口 3. (1)に同じ。

(3) 企画提案書の作成及び提出に要する費用は、企画提案者側の負担とする。

(4) 企画競争実施委員会に提出された提案書は、当該提案者に無断で2次的な使用は行わない。

(5) 企画提案書の提出者は、提案書の作成に当たっては、他の提出者と提案書の提出意思、提案書その他契約担当官等に提出する書類（以下「提出書類」という。）の作成についていかなる相談も行ってはならず、独自に提案書等を作成しなければならない。

(6) 企画提案書に虚偽の記載を行った場合は、当該企画提案書を無効にするとともに、記載を行った応募者に対して指名停止を行うことがある。

(7) 特定した提案内容については、国等の行政機関の情報公開法に基づき、開示請求があった場合、予め「開示」を予定している書類とする。

(8) 提案が特定された者は、企画競争の実施の結果、最適な者として特定したものであるが、会計法令に基づく契約手続の完了までは、国との契約関係を生じるものではない。

(9) その他の詳細は企画競争実施にかかる説明書による。